

安七十五期 葉書の同級会

▼安達健次④死去。九月二日午前一時。奥様の弟から連絡があった。メールを持つ者には連絡したが▼最後に会ったのは昨年五月十日の金透小学校同級会の帰り。私の旅館に宿泊された時だった。彼は会うたびに豆新聞代を置いて行った。▼九月五日は福島県知事選挙であった。あつさり当選**佐藤栄佐久**七一期は知事に成り五期一七年目に突入した。▼選挙の指揮を取った**原正夫④**自民党県連幹事長は目標投票率五十%突破して男が立った。原は「70

万票は評価できる数字。他県と比べても驚異的な得票で、知事の発言力が落ちたということはない」と総括した。▼五期目にかける知事にわたしの勝手なお願いだ、一、この四年で一気に県庁を郡山に移転して有終の美を飾って欲しい。いわきも会津も絶対喜ぶ。一、福島空港は野口英世空港に改名して欲しい。詳細は省く▼九月一日、選挙より一週間遅れで母校一〇周年記念式典。記念講演は作曲家、**湯浅譲二、六二期**。タイトルは『想像と創造』自作曲を聞かせながらの講演だった。▼ある生徒が上手な質問をした。生徒『今までに経験の無いような音楽を聞き感激しま

した』湯浅『誰もが聞いたことが無い音をイメージ(想像)しそこから音楽をクリエイト(創造)するのがわたしの仕事です』わたしが理解出来た唯一の言葉であった。▼同じ一日全国温泉卓球大会磐梯熱海には延べ三五〇人ほどが宿泊した。**深谷秀三④**福島県卓球協会理事長が磐梯熱海の宿泊客増につなげればと企画して下さった。感謝。▼卓球に生涯をかける意気込みの彼は退職金を全部注ぎ込みシャワールーム付き小体育館並みの卓球場を作ってしまった、との事。これを武器に卓球の後進の指導に当たる。詳しくはいずれ▼本年は各地の商工会議所会頭選出の

年に当たる。十月末**大高善兵衛**六七期郡山商工会議所会頭の下、**須佐喜夫⑦**副会頭が誕生した。緊張した面持ちで「浅学非才の身、小粒ですが全霊を傾け会頭を支えます」と語った▼十一月に入つて。**藤森英二、六四期**市長のもと郡山市制八十年、大同合併四十年の記念式典開催された。▼**江川英男八十期**江川商事脳溢血で突然の死去。安積高野球部をネット裏からインターネットにレポートしていてファンが多かった。彼の死を悼むメールが飛び交った。▼6日、全国高校ラグビーフットボール選手権大会県大会で安積は花園出場をかけた平工との決勝に望んだが夢断られた。